

令和8年度 第1回 碧南市地域自立支援協議会 会議録

1 日時

令和8年7月1日（水）午前10時00分から午前11時30分まで

2 場所

へきなん福祉センターあいくる デイルーム

3 出席者

(1) 委員 23名

碧南市社会福祉協議会 伊藤 正博（会長）

碧南市手をつなぐ育成会 三浦 志朗（職務代理）

日本福祉大学教授 青木 聖久

碧南市身体障害者福祉協会 鈴木たか子

碧南市民生委員児童委員協議会 小澤 昇

NPO法人ハートフルあおみ（あおみJセンター所長）水野 啓章

刈谷公共職業安定所碧南出張所 辻 辰憲

愛知県刈谷児童相談センター 島村 真優佳

愛知県立にしお特別支援学校 早川 浩史

碧南市小中学校校長会 石原 竹春

親子の会「カラフル」 鈴木 由記

身体に障害のある子の親子の会「すまいる」 永井 美幸

ほっとまんまピアサポーター 杉浦 有美

碧南市商工会議所 亀島 弘樹

碧南市農業委員会 永坂 邦男

スギ製菓株式会社 永坂 峰広

西三河南部西障害者就業・生活支援センターくるくる 川村 顕治

刈谷病院 水野 美香

サンフレア 高松 有美

就労センターオアシス碧南 大谷 大

WHJ相談支援センターメビア 浅野 将克

ARTIST JAPAN 森脇 友理

グループホームノアン碧南 廣瀬 恵子

(2) 事務局

福祉部長 鈴木 美奈子

福祉課長 磯貝 浩

福祉課社会福祉係主事 中村 一輝

福祉課社会福祉係主事 矢野 友也

(3) 基幹相談支援センター（碧南市社会福祉協議会）

地域福祉課地域福祉係長 古川 裕隆

地域福祉課地域福祉係主査 小島 誠司

地域福祉課地域福祉係主査 久村 明弘

地域福祉課地域福祉係主事 坪井 優佳

地域福祉課地域福祉係主事 長谷川 祥子

地域福祉課地域福祉係主事 天野 好美

地域福祉課地域福祉係主事 角谷 有花

地域福祉課地域福祉係主事 大野 聖士

地域福祉課地域福祉係主事 田島 十和

地域福祉課地域福祉係主事 榊原 陽太

4 傍聴者

0人

5 議題

(1) 障害福祉サービス等の提供実績について

(2) 基幹相談支援センターの実績について

(3) 碧南市地域自立支援協議会各作業部会の実績報告及び今年度の取組について

(4) へきなん障害者ハーモニープランの策定について

6 議事の要旨

(1) あいさつ（伊藤会長）

(2) 議題

ア 障害福祉サービス等の提供実績について

事務局が会議資料に基づき説明し、その後審議した。

＜主な意見・質疑＞

特に意見・質疑等なし。

イ 基幹相談支援センターの実績について

事務局が会議資料に基づき説明し、その後審議した。

＜主な意見・質疑＞

特に意見・質疑等なし。

ウ 作業部会の実績報告及び今年度の取組について

事務局が会議資料に基づき説明し、その後審議した。

＜主な意見・質疑＞

A委員：強度行動障害児者、医療的ケア児者や介護している家族に対するサポート体制が整備されると良い。対象者が少ないので、当事者が声を上げづらいかもしれないが、関係者は疲弊していると思う。近くでは医療的ケア児者、強度行動障害児者を受け入れられる施設が少ないので、人材育成、施設整備が進むと当事者や家族の負担が軽減できる。ただ今までは焦点になることも少なかったもので、こういった会議で取り上げられるようになったことだけでも進歩かと思う。

B委員：障害の内容で受け入れを拒否されるといった受け入れ問題はよく直面する。

強度行動障害が大きく出ないような環境配慮や支援が必要。支援者の能力向上、障害について理解を深めることで受入可能な施設も増えてくるのではないかな。

C委員：医療的ケアの場合は、資格が必要なので時間もお金も必要。人材育成が難しいと感じている。市から補助等はあるか。

事務局：介護保険制度では補助があるが、障害福祉制度ではない。

事業所に聞くと、研修に時間を割く余裕がないという意見が多い。他にも当事者の声や意見等があれば福祉課や社協に届けてほしい。

エ ヘきなん障害者ハーモニープランの策定について

事務局が会議資料に基づき説明し、その後審議した。

<主な意見・質疑>

D委員：サービス見込量はどうやって出しているのか。

事務局：過去の実績や人口動態を勘案し、コンサルと協議しながら算出している。

オ 学識経験者（日本福祉大学 青木 聖久 教授）

4点のまとめをしたい。

- ① 障害はあくまでその人のひとつの側面。その人の本質をみることが重要。
- ② 社会資源の構築による直接効果と間接効果が存在する。障害者は少数派だが、少数派にも対応する姿勢があると多数派にとっても優しい街になる。どういう立場になろうが誰一人取り残さないという姿勢が大切。
- ③ メンタルヘルスは誰にでも関わること。心での理解（情緒）に配慮することで地域包括ケアシステムの構築が進むのではないかな。
- ④ 知ることの大切さ。障害に関する知識や情報が広がれば、社会からの理解も深まる。

7 その他

事務局が会議資料に基づき、次回の会議予定等を説明した。

以上